

平成24年度事務事業評価【事前評価】(平成25年度新規建設事業)結果表

課名	実施計画事業名	小事業名	2次評価			3次評価					
			貢献度	優先度	総合評価	貢献度	評価の内容	優先度	評価の内容	総合評価	実施に際しての留意点等
ガス水道局	簡易水道施設整備事業	糸魚川区域施設整備事業	A	A	現状維持	A	組合営の水道を公営化するためには必要な整備である。	A	生活インフラであり、安全安心な水道水の安定供給のためには必要な整備である。	現状維持	計画どおり推進すること。
商工農林水産課	林業専用道開設事業	林業専用道開設事業	B	B	現状維持	C	草山線の計画範囲を再検討。他路線との比較をして、より有効な路線から行う。	C	補助条件のよい加速化事業は優先して実施すべきである。	業務改善	H25、26は計画どおり。H27からは費用対効果、維持管理のしやすさ、路線等計画位置や範囲について再検討すること。
ガス水道局	浄化槽排水路改修事業	水路改修支援事業	B	B	現状維持	B	全て市管理型浄化槽にならないと事業効果が期待できない。	B	市管理型浄化槽への移行誘導と合わせた取り組みが必要である。	業務改善	測定等を実施し、水質管理及び効果を把握すること。排水路計画と合わせて、市管理型への移行を推進すること。
健康増進課	能生国民健康保険診療所整備事業	診療所整備事業	A	A	拡大拡充	A	地域医療の確保のため必要である。	A	地域医療の充実、関連施設整備にも影響があるため実施すべきである。	現状維持	関連施設(おおさわの里)整備に影響がでないよう、関係機関との協議や事業実施を速度を上げて推進すること。
環境生活課	一般廃棄物最終処分場整備事業	一般廃棄物最終処分場整備事業	A	A	現状維持	A	一般廃棄物処理のため、必要な整備である。	A	一般廃棄物の適正管理を行うため、早急な事業推進が必要である。	現状維持	地元理解を得られるよう協議を行い、計画どおり事業実施ができるよう進めること。
建設課	道路新設改良事業	火葬場周辺道路	A	A	現状維持	A	大野糸魚川1号線までの接続について、構想(法線・工法)を練っておく必要である。	A	火葬場整備の要望条件でもあり、早期の整備が望まれる。	現状維持	他事業(新幹線関連等)との調整を行い財源確保をしながら、事業展開を図ること。
総務課	バス車庫建設事業	バス車庫建設事業	B	B	現状維持	C	市の施策ではなく貢献度は低い。	B	近隣への影響を踏まえると、解体撤去は早急に行うべきである。	業務改善	他の方法(代替施設を妥当な金額で取得できるか)も含めて再検討すること。
教育総務課	学校暖房設備整備事業	小学校暖房設備整備事業	A	A	現状維持	A	長寿化計画、児童数、経年数に基づき施工順を決定しており妥当である。	A	快適な教育環境確保のためには必要である。	業務改善	学校統合計画に整合した整備計画が必要である。
文化振興課	博物館整備事業	博物館整備事業	A	A	拡大拡充	B	数年に一度程度のリニューアルは必要だが、市民生活の向上という面では貢献度は若干落ちる。	A	交流人口の拡大、世界ジオパークの情報発信拠点であり、新幹線開業に合わせた整備が必要である。	現状維持	事業費を極力圧縮すること。
生涯学習課	地区公民館施設整備事業	市振地区公民館	A	A	現状維持	A	支館としての機能を確保するため必要な整備である。	A	新公民館体制の整備方針に基づく実施が必要である。	現状維持	計画どおり推進すること。
生涯学習課	地区公民館施設整備事業	(仮)歌・外波地区公民館	B	B	業務改善	C	両支館の改修は終わっており、整備の必要性も含めた地元協議が必要である。	C	地元の協議を十分に行ったうえで、整備方針を決定する必要がある。	業務改善	地元との協議を十分に行い、支館による運営も視野に入れて、整備方針・設置場所について検討を深める。